

2022年7月

2021年度（令和3年度）

港湾厚生関連施設

事業報告書

指定管理者

一般社団法人 横浜港湾福利厚生協会

<事業報告>

- 1 利用実績（利用者数等）
- 2 管理業務の実施報告
- 3 利用状況分析報告
- 4 利用者アンケートの結果及び対応状況
- 5 収支決算書
- 6 自主事業の実施状況に関する事項
- 7 研修等の計画・実施
- 8 自己評価について
- 9 その他

1 利用実績（利用者数等）

（1）食堂利用者数

単位：人

港湾厚生関連施設名	2021年度	2020年度	増△減	備考
山下ふ頭港湾厚生センター（本館）	80,407	82,019	△1,612	山下ふ頭
大黒ふ頭港湾厚生センター	84,972	86,675	△1,703	大黒ふ頭
大黒ふ頭レストハウス	80,337	70,607	9,730	〃
出田町ふ頭港湾厚生センター	56,274	63,710	△7,436	出田町ふ頭
本牧ふ頭港湾厚生センター	55,113	59,360	△4,247	本牧ふ頭
港湾労働者本牧ふ頭厚生施設	3,535	5,128	△1,593	〃
本牧ふ頭B突堤厚生施設	24,986	26,491	△1,505	〃
計	385,624	393,990	△8,366	

（2）売店利用者数（直営店）

単位：人

港湾厚生関連施設名	2021年度	2020年度	増△減	備考
出田町ふ頭港湾厚生センター	5,465	5,614	△149	出田町ふ頭
本牧ふ頭港湾厚生センター	416,320	422,533	△6,213	本牧ふ頭
本牧ふ頭B突堤厚生施設	1,311	1,439	△128	〃
計	423,096	429,586	△6,490	

※本牧ふ頭 B 突堤厚生施設の売店は 2022 年 3 月 31 日をもって営業終了

（3）会議室利用件数

単位：件

港湾厚生関連施設名	2021年度	2020年度	増△減	備考
横浜市港湾労働会館	2,488	1,770	718	

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、横浜市の対応方針に基づき利用人数の制限や夜間利用の受付停止等を実施

2 管理業務の実施報告

（1）施設及び敷地の使用許可に関する業務

単位：件数

港湾厚生関連施設名	使用許可関係				工作物関係		自動車保管場所関係	
	使用申請	使用許可	変更申請	変更許可	設置・変更申請	設置・変更許可	使用申請	使用許可
山下ふ頭港湾厚生センター（本館）	2	2						
山下ふ頭港湾厚生センター（別館）	2	2						
大黒ふ頭港湾厚生センター	4	4						
大黒ふ頭レストハウス	4	4						
出田町ふ頭港湾厚生センター	1	1						
横浜市港湾労働会館	11	11					6	6
本牧ふ頭港湾厚生センター	1	1						
港湾労働者本牧ふ頭厚生施設	1	1						
本牧ふ頭B突堤厚生施設	1	1						
計	27	27					6	6

(2) 施設、設備及び敷地の保守管理に関する業務

基本協定書第9条2項の別紙3「仕様書」に記載されている「4 港湾厚生関連施設の管理に関する業務の基準」に基づき、必要な維持管理業務の経費節減と中長期的な費用対効果の向上を重視して、常に精査し、効率的な業務の推進を図りました。

保守管理の詳細については、「指定管理月報」にて報告しております。

2021年度は引き続き横浜市港湾労働会館にて横浜市の「新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る対応方針」に基づき会議室の定員を通常の7割程度として営業いたしました。

また、2021年8月の緊急事態宣言の際には新規受付停止等を行い営業いたしました。その後も横浜市の地域施設に準じた予防対策を講じた上で開館しております。

2020年8月から指定管理9施設において神奈川県「感染防止対策取組書」に参加しております。

2021年12月25日に本牧ふ頭港湾厚生センターにて外部階段の踏込部が劣化により欠落し、通行不可能となりました。

その後、横浜市が2月より修繕工事を実施したため、現在は復旧しております。

3 利用状況分析報告

(1) 食堂利用者数

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により一部回復した店舗はあるものの、食堂全体の利用者が依然減少しており、前年度より8,366人減となりました。

(2) 売店利用者数

食堂と同様、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により利用者の減少が続いており、売店全体で前年度より6,490人減となりました。

(3) 会議室利用件数

横浜市港湾労働会館は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による貸出規制や利用人数及び時間の制限等ありましたが、前年度より718件増となりました。

4 利用者アンケートの結果及び対応状況

2021年9月から10月にかけて実施しました。

全体的に今回も清掃に対する評価が高く、清潔で快適な施設のイメージを維持し、多くの利用者に満足いただくよう努めてまいります。

アンケート集計結果は、「指定管理月報」にて報告しております。

5 収支決算書
別紙のとおり

6 自主事業の実施状況に関する事項

(1) グリストラップ槽清掃（簡易清掃）

実施施設：給食センター、全食堂

(2) AED（自動体外式除細動装置）

実施施設：山下ふ頭港湾厚生センター本館・別館、大黒ふ頭港湾厚生センター、
横浜市港湾労働会館、本牧ふ頭港湾厚生センター
※全施設で救命活動はありませんでした。

(3) 玄関マット

実施施設：山下ふ頭港湾厚生センター本館・別館、大黒ふ頭港湾厚生センター、
横浜市港湾労働会館、本牧ふ頭港湾厚生センター、本牧ふ頭 B 突堤厚生施設

(4) 洋式トイレの便座クリーナー

実施施設：山下ふ頭港湾厚生センター本館・別館、横浜市港湾労働会館、
本牧ふ頭港湾厚生センター

(5) 防犯カメラ

実施施設：山下ふ頭港湾厚生センター本館・別館、横浜市港湾労働会館、
本牧ふ頭港湾厚生センター、大黒ふ頭港湾厚生センター

(6) 機械警備の実施

実施施設：山下ふ頭港湾厚生センター本館・別館、大黒ふ頭港湾厚生センター、
大黒ふ頭レストハウス、本牧ふ頭港湾厚生センター

(7) インターネット接続サービスとして利用できる無料 Wi-Fi 設備の設置

実施施設：山下ふ頭港湾厚生センター本館、横浜市港湾労働会館、
大黒ふ頭港湾厚生センター、本牧ふ頭港湾厚生センター

(8) その他

港湾労働者の福利厚生事業や労働組合活動並びに横浜市主催・協賛のイベント等において、施設の無償貸付及び開放を行い、利用促進を積極的に行いました。

なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりザよこはまパレードやメーデーの中止、または各労働組合の旗開き開催自粛の動きがあったため、例年と比較して貸付件数は減少しております。

日付	港湾厚生関連施設名	イベント名	貸出・開放施設
7月1日	山下ふ頭港湾厚生センター本館	健康診断（港湾）	会議室
8月19日	山下ふ頭港湾厚生センター本館	健康診断（港湾）	〃
10月3日	山下ふ頭港湾厚生センター本館	労働組合定期大会（港湾）	〃
10月10日	山下ふ頭港湾厚生センター本館	労働組合定期大会（港湾）	〃
10月17日	山下ふ頭港湾厚生センター本館	労働組合定期大会（港湾）	〃
7月17日	横浜市港湾労働会館	労働組合定期大会（港湾）	〃
8月26日	横浜市港湾労働会館	労働組合定期大会（港湾）	〃
8月31日	横浜市港湾労働会館	労働組合定期大会（港湾）	〃
9月2日	横浜市港湾労働会館	労働組合定期大会（港湾）	〃
9月11日	横浜市港湾労働会館	労働組合定期大会（港湾）	〃
9月25日	横浜市港湾労働会館	労働組合定期大会（港湾）	〃
9月28日	横浜市港湾労働会館	労働組合定期大会（港湾）	〃
10月2日	横浜市港湾労働会館	労働組合定期大会（港湾）	〃
10月17日	横浜市港湾労働会館	労働組合定期大会（港湾）	〃
10月23日	横浜市港湾労働会館	労働組合定期大会（港湾）	〃
10月24日	横浜市港湾労働会館	労働組合定期大会（港湾）	〃
11月9日	横浜市港湾労働会館	労働組合定期大会（港湾）	〃
計		17件	

7 研修等の計画・実施

(1) 横浜市が開催する研修会への参加

テーマ「人権啓発研修」 開催日：2021年11月17日他

(2) 食品衛生講習会の開催

衛生意識の向上と食品事故等の防止のため、中福祉保健センターから講師を招き「食品衛生講習会」を開催しました。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各店舗の食品衛生責任者を中心に参加者を限定して開催しました。

開始日時：2021年7月30日（金）15時00分～

開催場所：山下厚生センター別館 4階会議室

受講者数：20名

講習内容：食中毒予防・食品の衛生等について

(3) 避難訓練の実施

災害発生時における初動対応の確認と防災意識向上のため、避難訓練を実施しました。

開始日時：①2021年9月7日（火）14時00分～

②2022年2月25日（金）14時00分～

開催場所：山下ふ頭港湾厚生センター本館

参加者数：約40名

訓練内容：火災発生時の連絡体制から初期消火までを確認し、避難誘導の実施

8 自己評価について

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、施設利用者は昨年度に引き続き減少しましたが、一部施設では回復傾向も見られるようになりました。

利用者アンケートの結果、特に清掃に関する満足度が高くなっており、衛生面を重要視する今日において、良好な維持管理に努めたことによる評価を頂いたことで指定管理業務を適切に遂行できたと考えております。

9 その他

新型コロナウイルスの感染対策として、全9施設のエントランス付近や受付窓口等に手指用アルコール除菌液や非接触型の体温計を設置しました。

前年度に引き続き、省エネルギーの一環として各施設の夏季室温を28度に保つ設定をしました。

横浜市において港湾労働者本牧ふ頭厚生施設の浄化槽改修工事、本牧ふ頭港湾厚生センターの外階段改修工事を行いました。

指定管理施設 2021年度収支決算書

全施設

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
指定管理料	81,202,000	維持管理運営費	81,196,861
自主提案事業収入	0	人件費	24,332,966
		消耗品費、備品購入費等	12,134
		光熱水費	8,277,677
		清掃費	25,274,428
		安全管理費・設備保守点検費	17,534,312
		保険料	2,630,474
		小破修繕費	663,780
		租税公課等	641,170
		消費税	1,829,920
		その他支出	0
		自主提案事業による支出	7,343,826
		自主提案事業	7,343,826
収入合計	81,202,000	支出合計	88,540,687
収支差額(不足額)	7,338,687		
合計	88,540,687	合計	88,540,687